

## 福祉文教常任委員会審査報告書

令和元年9月20日

飯綱町議会議長 清 水 満 様

福祉文教常任委員会委員長 石 川 信 雄

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので会議規則第77条の規定により報告します。

### 記

事件番号	件 名	審査の結果
議案第46号	飯綱町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
議案第56号	平成30年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第57号	平成30年度飯綱町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第58号	平成30年度飯綱町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第59号	平成30年度飯綱町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第65号	平成30年度飯綱町病院事業会計決算の認定について	認 定
請願第7号	リゾートライン沿線での太陽光発電計画却下に関する請願書	継続審査

次に本委員会の審査の経過及び主な質疑、意見について報告します。

**○議案第 46 号 飯綱町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例**

質 疑：なし

討 論：なし

採決の結果：賛成多数で可決とした。

**○議案第 56 号 平成 30 年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について**

質 疑：なし

討 論：なし

採決の結果：全員賛成で認定とした。

**○議案第 57 号 平成 30 年度飯綱町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について**

**【住民環境課】**

質疑①：短期証の発行が 37 世帯ということだが、延べ発行枚数は何枚か。

回答①：年間延べ 162 枚発行している。

質疑②：他の自治体では威圧的な色の督促状を発送しているという話を聞いたが、国保税の督促状の色は何色か。

回答②：特に変えていない。他の町税と同様にピンク色である。

**【保健福祉課】**

質 疑：なし

討 論：なし

採決の結果：賛成多数で認定とした。

## ○議案第 58 号 平成 30 年度飯綱町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

質疑①：後期高齢者医療広域連合の保健事業にフレイル対策事業があるはずだが、飯綱町では行っていない。広域連合でも予算が余っており多くの市町村に申請してもらいたいという話を聞いているが、申請していない理由は何か。

回答①：フレイル対策を含めた後期高齢者医療の保健事業については、保健師が現在の人員では対応できないという問題があり、今後どのような事業が取り入れられるか検討していきたい。

意見②：フレイル対策はとても重要な対策で、元気そうに見えても本人の自覚なくフレイルが進行して介護が必要になるという指摘はずっとされており、今一番力を入れて取り組むべき課題の一つなので、導入をしてもらいたい。

討 論：なし

採決の結果：賛成多数で認定とした。

## ○議案第 59 号 平成 30 年度飯綱町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

質疑①：認知症の人が車を運転し逆走するなどの問題もあるが、もし事故等を起こした場合の補償はあるか。また、免許証を返納しても車を運転している人がいるが、その場合において事故を起こしたとき、町としてどう対応していくか。

回答①：飯綱町の場合、認知症支援体制整備事業のモデル事業を実施してきており、認知症を理解し、認知症になってもみんなで支えることを目的に取り組んでいる。そのような事故等が起きないように制度、サービスを整えてきている。

質疑②：通所Bが東黒川で始まったが、そこへの参加者は少ない。どう増やしていくか。

回答②：確かに通所Bが出来ても地区の一部の人しか参加していない現状があり、どう参加者を増やしていくか課題である。参加者が集まるような周知啓発を工夫する。

質疑③：要支援1・2の介護認定率が減っていると説明があったが、それをどう評価するか。サービスを使いたいのに使えない場合もある。要介護の1・2でも外されるという状況下で、サービスに頼って生活している人もいるが、どうみていくか。

回答③：総合事業が始まり要支援1・2の介護認定率は減っているが、要介護4・5が増えていることが課題と認識している。要支援の介護認定者が減っても、総合事業ほか、例えば生活支援コーディネーターによる仕組みづくりからの活動や通所Bの活動、また認知症初期集中支援事業で掘り起こす等、様々な方面から支援の方向を探っていければと考える。

意見④：地区内の防災訓練で支え合いマップの確認作業をした。地域に若年認知症と思われる人がいるが、認知症とひとくくりに言っても症状が違うように対応方法も違うと思う。どれだけの人がそれを理解しているか。きめ細かな学習の場を作っていないといけない。

質疑⑤：介護の利用者から、介護員がセクハラにあっていると聞く。国の統計では、介護員の4割が経験ありとある。ヘルパーは独居の人の家に訪問するが、そのような危惧が心配される。どういう対応をしていけば良いか。

回答⑤：そのような状況は認識していなかった。今後、調査をしていきたい。離職につながってしまうと重大な問題だ。

討 論：なし

採決の結果：賛成多数で認定とした。

## ○議案第 65 号 平成 30 年度飯綱町病院事業会計決算の認定について

質疑①：外部監査の決まりは。

回答①：決まりはないが、毎月の例月検査、上半期定期監査、下半期定期監査、決算審査を行っている。

質疑②：ホームページ上で職員の募集をしているが人員は足りていないのか。

回答②：全く足りていないわけではないが、職種によっては欠員状態である。

質疑③：不納欠損額はどこに表示されるか。

回答③：貸借対照表上に貸倒引当金と差し引きされた残高が表示されるが、不納欠損額そのものは表示されない。

質疑④：医業外費用の雑損失とは何か。

回答④：全額消費税。

質疑⑤：病院の今後の方針として、医療と介護はどのような方向に進むと考えているか。

回答⑤：この場で明確な返答はできないが、病院事業検討委員会等で検討していく必要がある。今後の大きな課題としている。

質疑⑥：退職給付費とは何か。

回答⑥：職員の退職金ではなく、退職金の事務を行う総合事務組合に支払っている

負担金である。

討 論：なし

採決の結果：全員賛成で認定とした。

○請願第7号 リゾートライン沿線での太陽光発電計画却下に関する請願書

継続審査とした。

以上